

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel.0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長:及川涼平
メディア委員会担当:
佐々木文弥・熊谷和彦・吉田俊哉

国際教育部会東北大会

シンガポール日本人学校校長・ドバイ日本人学校校長を務め 現在専修大学北上高等学校で理科を担当している和田政男先生の講演会開催される



ドバイ

シンガポール



カントラを着て講演する和田政男先生

日本の教育の強みと弱み 海外生活で感じたこと

11月8日(水)国際教育部会東北大会が、くろホール(中ホール)で開催されました。

講師は2010年から2013年シンガポール日本人学校校長、2019年から2023年ドバイ日本人学校校長を務め、現在専修大学北上高等学校で理科を担当している和田政男先生です。

「日本の教育の強みと弱み」海外生活で感じたこととして語って行われました。今回の講演会は2年生全員も参加しました。

以下講演会の一部を紹介いたします。

イスラム世界の挨拶で「こんにちは」は「アッサラーム アライクム」と言います。「あなたに平和が訪れますように」という意味があります。それに対して返す言葉は「ワレイコム サラーム」で「あなたに平和が訪れますように」です。

シンガポールは1965年に建国し初代首相はリー・クワンユー、アフフ首長国連邦は1971年に建国し初代大統領はシェーク・サイードで、どちらも国の歴史の浅い国ですが、今までのすくすく経済が進展して大都市が形成され、教育にも力を入れていきます。

海外から日本人はどのように見られているかと思いませんか？世界中のホテルマナーシャワーに聞いて見ると、世界最良の旅行者は「日本人」と答



頭はスカーフをかぶり、イガールというロープ状のバンドで固定しています。

えます。その理由として、①礼儀正しい②ホテルで騒がない③苦情が少ない④部屋を清潔に使う⑤放火でのフマシヨンも洗練されている。

このように世界から高い評価を受けるのは日本人は日本の教育がつくっている」と私は考えます。

全ての生徒に同じ機会を与え、集団の大多数を占める平均層に佳点を当てて指導することで、集団の質を高め、規律ある集団を作り上げるのに大きな力を発揮しています。

他人に迷惑をかけない行動を意識した、道徳的にも質の高い社会を作り上げています。

人口が1億人を超えるような国にあっても、全国均質な質の高い教育を提供することに成功しています。

東日本大震災が起きた時、日本では物の贈り物などほとんど起きませんでした。バスや電車を待つ時や物資、食料配給を待つ時もきちんと列を作っていました。

た。この光景を見て世界中の人々は驚きました。日本人の気質や道徳心もあると思えますが、やはり日本の教育の成果だと思えます。

また、シンガポールやドバイの日本人学校の校長をして、外国の人たちと比較して日本の教育の弱みも発見しました。

①生徒の個性を十分に伸ばせていない
②個に合った教育を施せていない
③批判的考察を育てる方法が不足している

学校は「おが」と「まがが」が認められ、尊重されるところで、みんな違ってみんないいという考えで私は思っています。

※帰国して
久々に感じた日本

◆何でも自由に物が言える幸せな国
◆和田先生の感想「物事が決まらぬ、決定が遅い」
◆礼儀正しく、配慮の行き届いた美しい国

【和田先生の感想】同調圧力が強く、善悪しにくい
◆仕事丁寧で完璧
【和田先生の感想】トライ・アンド・エラーも時には大

切
◆医療が発達し、福祉が行き届いている国
【和田先生の感想】公(国や市など)にどうにかしてもらおうと、要求や文句が多い国民
◆平和な島国
【和田先生の感想】国際感覚の欠如
◆世界で最も早く到達してしまっただ「超高齢化社会」
◆失われた20年(世界はこの20年で激変、日本だけが大きな変化がない)

日本の常識は、世界の非常識であることが多い。でも、そんなおかしな言葉は特別な国「日本」であるからこそ、世界から学びまた世界に提案できるのも多くあると思えます。

日本の強みで「弱み」を知り「弱み」を克服することで、日本はまた世界の中で存在感を持つことができますが日本人と世界から尊敬される日本を作っていくものと、信じています。

今、世界のあちこちで戦争や紛争が継続しています。主義主張が異なると言いつつも、背景には利権野心的、妄想、憎しみ等々が渦巻いています。なぜ、人類はこのような愚行を繰り返すのでしょうか？
私たちは、もっと学び、賢くならなければなりません。

明日死ぬかと思いついて、今日を生きて、永遠に生きて、思いついて今日学校で...

清静ありがたい世界に...

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：及川涼平
メディア委員会担当
佐々木文弥・熊谷和彦・吉田俊哉

第102回全国高校サッカー選手権大会岩手県大会決勝 全校応援

専大北上0-1遠野



10月18日(水)

▽3回戦

専大北上10-1関二
遠野 7-0盛岡三
盛岡誠校7-0花巻南
不来方 2-0水沢
盛岡商業4-1盛岡四
盛岡大付2-1江南義塾
盛岡市立3-1盛岡北
盛岡中央10-0大船渡

高田 大植

10月21日(土)

▽準々決勝

専大北上2-1盛岡市立
前半0-0
後半1-1
延長前半0-0
後半1-0

遠野 2-0盛岡誠校
前半0-0
後半2-0

専大北上県高総体決勝の雪辱を期して
最後まで走り抜いたが得点に至らず
3度目の全国選手権にあと一步届かず惜敗

専大北上地方が示す
「堅守起点に4得点」
(評)前半からチャンスをつかみますが、ゴールに押し込められません。時間が過ぎていきます。しかし、このDFWに起用された齋藤幸が結果を出します。見事先制点を挙げ、前半を終えます。

後半はCKから高野創太が追加点を奪うと、相手に決定機を作らせません。すると最後は名久井悠希が仕上げます。アディショナルタイムには、千葉翔羽がダメ押し、決勝進出を決めました！

10月29日(日)

▽準決勝

専大北上4-0盛岡大付
前半1-0
後半3-0

盛岡中央1-0不来方
前半1-0
後半0-0

盛岡大付3-0盛岡商業
前半1-0
後半2-0

【得点者】
齋藤 幸(普3年)
高野創太(普3年)
名久井悠希(普3年)
千葉翔羽(普2年)



11月5日(日)

▽決勝

専大北上0-1遠野
前半0-0
後半0-1

(評)第102回全国高校サッカー選手権大会の決勝は11月5日、盛岡市いわきスタジアムで行われ、専大北上は遠野に0-1で惜敗した。

専大北上は県高総体決勝の雪辱を期して最後まで走り抜いたが得点に至らず、3度目の全国選手権にあと一步届かなかった。

一瞬が勝敗を分けた。相手の決定機を何度も防いでいた専大北上だが、後半初分、右クロスからヘディングシュートでゴールを割られた。

MF神部増選手(普3年)(横川中出身)の鋭いサイド突破やGK阿見直叶選手(普3年)(氏家中出身)のフライングセーブ、DF菊池弥陽選手(普3年)(遠野中出身)の体を張った守りもスタンドを盛り上げた。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：及川涼平
メディア委員会担当
佐々木文弥・熊谷和彦・吉田俊哉

11月2日(木) チーム統括本部 河原 隆一スカウティングディレクター チーム統括部アマスカウトグループ 河野 亮アマスカウトから DeNA球団の指名挨拶を受けた近藤大雅捕手



三浦大輔監督の直筆サインが入ったチームパスとマスケットキャラクター「DBスターマン」の縫いぐるみ受け取る近藤大雅捕手

10月27日(金)プロ野球の新人選手選択会議(ドラフト会議)でDeNAから育成5位指名を受けた近藤大雅捕手に対して、11月2日(木)チーム統括本部河原隆一スカウティングディレクター、チーム統括部アマスカウトグループの河野亮アマスカウトが本校を訪れ、球団の指名挨拶を受けました。

三浦大輔監督の直筆サインが入ったチームパスやマスケットキャラクター「DBスターマン」の縫いぐるみを受け取る近藤大雅捕手は受け取り目標のプロの世界で全力で野球を楽しみ、土連した。育成からレギュラーを取ったソフトボールの甲斐選手のようになれるよう努力していきたい」と決意を新たにしていました。

11月17日(金)に協賛約を結び、11月24日(金)に横浜市内で入団会見が行われる予定です。

【近藤大雅捕手】
(普通科3)

(神戸)上野中出身) 強肩と長打力が持ち味で高校2年秋に投手から捕手に転向。今夏の岩手大会8強に貢献。

